

～自分のからだを把握しよう！～

ヘリコバスターピロリ菌は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の主な原因と考えられています。ピロリ菌に感染するとまず、すべての人が慢性胃炎となります。日本の中高年の人の70～80%の人がピロリ菌に感染していますが、そのなかで慢性胃潰瘍にまで進行するのは約2～3%、胃がんになるのは0.5%程度とされています。多くの胃がんは胃粘膜の萎縮を経て発生すると考えられています。胃の粘膜は、ストレスや過食などにより次第に老化し、肌と同じようにシワが多くなってきます（萎縮性変化）。この変化により血液中のペプシノゲンと呼ばれる物質が減少します。ピロリ菌の有無とペプシノゲン異常の有無、この**2種類の血液検査**を組み合わせることによって胃の健康度（がんや潰瘍のリスク）を知ることができます。

そこで！あなたの“胃”のタイプを調べてみませんか？！



血液検査で手軽にできる！

胃の健康度チェック



最近胃の調子が気になる方、どのような方法で胃検診を受ければよいかお悩みの方、妊娠中の方でも放射線被爆の危険性がないので、検査をお勧めします！

ペプシノゲン検査



ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃の検診で多く実施されているのはバリウムを飲んでから行うX線撮影で、フィルムに写った胃壁の凹凸から胃の状態を見る検査です。この方法とは別に、**2種の血液検査**を組み合わせることによって「胃の健康度」を調べることができます。

		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		陰性	陽性
ペプシノゲン検査	陰性	A タイプ	B タイプ
	陽性	C タイプ	

Aタイプ



健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。

Bタイプ



胃かいよう・十二指腸かいようなどに注意しましょう。

Cタイプ



胃がんなどの病気になりやすいタイプ。内視鏡による定期的な検査を受け、胃の病気の早期発見・早期治療に努めましょう。



- ※ 下記に当てはまる方は、正しい結果が得られない場合があります
 - ・明らかな上部消化器症状がある、又は治療中の方
 - ・プロトンポンプ阻害剤服用中の方
 - ・胃切除後の方
 - ・腎不全の方
 - ・ヘリコバスターピロリ除菌中、又は直後の方
- ※ この検査は胃の状態を評価するものであって、胃がんの有無を調べる検査ではありません。
- ※ 胃がんの有無を調べるためには、X線法、胃カメラなどを併用する必要があります。
- ※ ピロリ菌に感染している人すべてが胃の病気になるわけではありません。

ペプシノゲン ピロリ検査

検査料：4,000円（税別）

希望される方は、お気軽に下記へご相談下さい。



医療法人社団 仁恵会 石井病院 健診センター